



豫
算
會
計
法

2115





巴華督臣國
理財期限ノ事

理財ノ期限ハ従前六年ト定リシ所屢議院ノ建言ニ依テ
 今度更ニ二年ト改定セリ即チ千八百六十五年
 歳入歳出ノ豫算表ハ理財期限終ル九ヶ月前大蔵省ニ於
 テ之ヲ編製シ皇帝ノ制可ヲ経詠表中緊要ナル説明書ヲ
 附添シテ大蔵卿ヨリ議院ヘ回致スルモノナリ而シテ此
 表ハ刊刷シテ議院日誌ノ副書トナス
 歳入歳出豫算表ハ一年宛ニ編製シ歳出ノ高ハ章條款ノ
 科目ニ分ツテ掲載シ歳入ノ高ハ徴收シ難キ事故アル其
 税高ト免税トナルヘキ其高トヲ詳ニシ又收稅費及ヒ取
 締費ノ高ヲ著シ之ヲ差引真ノ收入高ヲ記載スルモノナ
 リ

大正十一年四月

此表ハ前理財期限豫算ノ高ト同期限初年ノ會計高トニ
比較シテ編製シ專ニ簡明ヲ主トスルニ依リ細科目ハ別
表ヲ添付シテ之ヲ詳明ニス但シ前年ノ會計ハ未夕完結
セアルヲ以テ初年ノ會計ニ比較スルモノナリ
歳入歳出ノ豫算表ハ理財ノ法案ヲ附添シテ大藏卿ヨリ
下院ヘ回致シ下院ニ於テハ各委員ヲシテ其條件ヲ擔任
調理セシム委員既ニ調査議定ノ上ハ其旨趣ヲ記載シ一
員ノ委員ヲ以テ之ヲ該院ニ出ス該院ノ議長ハ曩ニ大藏
卿ヨリ回致セシ豫算表ト委員ノ調書ヲ衆議員ヘ下付シ
テ評議セシノ同院ニ於テ評議決定ノ上之ヲ上院ヘ進達
スルモノナリ
上院ニ於テモ前同斷ノ手續ヲ以テ之ヲ評議シ而シテ下
院ノ決議ヲ可否シ又時宜ニ依リ該院ノ意見ヲ記載シテ

政府ヘ建言スルナリ
上院決議ノ上ハ其旨直ニ下院ヘ通達ス下院ニ於テハ委
員ノ意見ヲ以テ上院ノ議ニ同意スルカ或ハ再ヒ意見ヲ
付シテ上院ヘ返致スルナリ如此反覆推窮シテ兩院終
ニ同意ニ至リシ上ハ評決書及ヒ同意ノ建言書ヲ兩院ヨ
リ皇帝ヘ奉呈スルモノナリ
皇帝ハ議院閉院ノ片兩院ヨリ曩ニ奉呈セシ評決書及ヒ
其建言書ノ事ヲ詔命シ而シテ一般ニ此理財法ヲ布告ス
ルモノナリ
理財法ニハ次期限中政府各年經費ノ總高及ヒ國債償還
局退隱料給與局錢道營繕局地頭年貢買受局
千八百四十六年六月四日
ノ法ヲ以テ地頭其他ノ
年貢高ヲ元金ニ積リ
官立運轉局ノ費額ト運輸ノ賃錢トヲ定
メ此總高ノ内前理財期限中ノ殘贏高支出ノ方法ヲ立テ

之ヲ差引而シテ政府徴收スヘキ歳入高ニ随ヒ諸税ノ種
類ヲ分ツテ其税ノ分額ヲ定ムルモノナリ
歳入歳出表ハ殊更布告スルトナク議院日誌ニ附添シテ
之ヲ公告スルモノナリ

行政及會計年度ノ事

行政年度ハ十月一日ニ起リ九月三十日ニ終ルヲ法トス
會計年度モ之ニ準スルト雖モ歳入未納ノ為メ三ヶ月歳
出未出ノ為メ凡ソ六ヶ月ヲ延期シテ之ヲ決算セシムル
モノナリ尚後條ニ詳ナリ

歳入歳出豫算表編製式ノ事

歳入歳出ノ豫算表ハ「ト」ノ法ヲ以テ編製
スルモノナリ故ニ此表ニ掲クル金高ハ上等官廳ノ金庫
ニテ徴收スル所ノ經費其他ヲ差引クモノト雖モ「ト」

ト「ト」ノ經費ノ差引ヲ「ト」ノ收入高ヲ知得セン為メ別表ヲ以テ徴
收或ハ取締費用等ノ高ヲ著シ又政府ヨリ資金ヲ給与セ
シ各設立所ニ於テ別段ノ歳入出アル高ヲ詳細掲載スル
モノナリ

政府會計法ノ事

政府ノ金貨ヲ出納スル各部局ニ於テハ渾テ其會計帳ヲ
上等官廳(即チ各邦ノ理財局官立運轉上司各省會計事務
局)ニ進達シ該官廳ニ於テ之ヲ検査シ而シテ部局
ノ勘定集合セシ上該官廳ノ分ヲ合シテ惣會計ヲ完結ス
ルモノナリ

此編製ノ順序ハ先ツ各部局ヨリ行受年度ノ終ル片惣會
計ノ副書トナルヘキ小譯帳ヲ該上等官廳ヘ進達シ該官
廳此検査ヲ終リ其部局ヘ返付セシ上部局ニ於テハ十二

月ヲ限リ其會計ヲ完結シ曩ニ検査ヲ受シ小譯帳ヲ附添
シテ更ニ該官廳へ進達スルナリ
部局ノ會計初度ノ調査評決ノ權ハ各所管ノ上等官廳或
ハ邦ノ理財局ニアリ此検査ノ事務ハ該官廳ノ會計掛ニ
於テ取扱三ヶ月ノ間即チ一月ニ三ノニ調理シ之ニ該官廳
ノ會計ヲ合シテ惣會計ヲ完結スヘキモノナリ
各部局未納ノ表但シ此表ハ惣會計ノ別紙トナルヘキモ
ノヲ製セテ上若シ前理財期限ノ為メ納ムル歳入アレハ
次期限ノ歳入ニ組入レテ之ヲ掲載ス
上等官廳及各部局ニ於テハ仮令會計年度終ル後ト雖
モ惣會計完結ニ至ラサル内ハ曩ニ允許ヲ得シ金額ハ之
ヲ支出スルトモ物ケナシ既ニ完結シ上ハ該部局ヨリ上
等官廳へ稟申シ同官廳ニ於テ其拂前理財期限ノ分ニ入

ルヘキモノカ或ハ次期限ニ入ルヘキモノトテ定メシ
ハト雖モ多クハ前理財期限ノ支出ヲ組入ルモノナ
リ
皇帝ノ各廳外務、内務、司法、内務、天主堂、兼學
校、大藏、貿易、兼工部、諸省先ニ大學院、技藝院、小譯帳檢
査ハ大藏省惣會計官ニ於テ之ヲ検査ス而シテ此會計官
ノ位地ハ上等官廳ニ陪別スルモノナリ
初度ノ検査終リシ上ハ各邦ノ上等官廳ノ惣會計再検査
ノ事務ニ着手ス其順序ハ上等検査局ヨリ議官一頁宛テ
各邦へ派出シテ之ヲ検査セシム而シテ検査済ノ上ハ該
邦上等官廳ヨリ各部局へ検査済ノ証書ヲ下付ス此証書
ニハ派出ノ議官承認ノ印ヲ捺用スルモノトス若シ議官
ニ於テ不明瞭ト見認ル條件アルキハ検査済ノ証書へ其

事故ヲ記載シ検査局へ具陳ス検査局ニ於テハ會議ノ法
ヲ以テ之ヲ評議シ其事件若シ規則上ニ關係スルモハ
該局ノ權限ヲ以テ之ヲ判決ス又金額ニ關スルハ大蔵
省へ具陳シ該省ニ於テ其事件主務ノ省へ訊問シテ之ヲ
判定スルモノナリ
各邦會計ノ再検査ハ上等検査局ヨリ派出セシ八名ノ議
官ニ於テ凡ソ三ヶ月ノ間ニ四五六月ヲ云調査ヲ終リ歸
府スルヲ期トス既ニ歸府セシ後ハ各省ノ惣會計ノ再檢
査ヲナシ而シテ七月ニ至リ検査ノ事務渾^{整理}政府ノ會計
全ク完結スルモノナリ
上等官廳ノ惣會計検査濟ノ上ハ上等検査局ニ於テ國家
ノ惣會計表ヲ編製シ之ヲ大蔵省ニ送付ス但シ此惣會計表
ハ各上等官廳ノ會計ヲ集合シテ編製スルニ依リ唯一員

ノ會計吏ヲ以テ一ヶ月内ニ容易ニ之ヲ完結スルヲ得
ル故ニ再次ノ會計年度即チ三年目ノ年度ヲ云ニ至ル際
初テ會計ノ完結スルモノナリ
會計初度再行ノ検査方法ハ千八百二十六年一月十一日
ノ規則ニ隨ヒ執行スルヲ以テ尔後一ツノ改正ヲ要スル
トナク其規則ノ便捷且ツ緻密ナルヲ實際ニ履行シテ知
得スル所ナリ然リト虽且國家惣會計表ノ書式并ニ之ヲ
議院へ回致スルノ國法ハ未タ其定則アルナシ
會計検査并ニ上等検査局ノ事
會計表ヲ編製スルニハ前述ノ如ク各部局ノ會計ハ該上
等官廳ニ於テ之ヲ検査シ各上等官廳ノ會計ハ上等検査
局ノ議官ヲシテ之ヲ再検査セシムルモノナリ
上等検査局ハ全ク再検査為メ設クル所ニシテ國家ノ惣

會計表編製ノ事ヲ擔任シ而シテ又會計ノ告訴ヲ裁決ス
ルノ權アリ此検査局ハ大蔵省ノ附屬ニラスシテ同省
ノ所管ト見做スヘキモノナリ其職負即チ左ノ如シ

長官 一員

議官 八員

書記官兼記録掛 一員

會計掛 一員

大蔵省ニ於テハ上等検査局ヲ管理シ而シテ派出議官具
陳書ノ事件ヲ裁決ス但シ成規ニ抵觸スルカ或ハ違算ノ
事ハ此限ニラス

正府ヲ管理スル方法ノ事

國家ノ惣會計表ニ完結セシ上ハ大蔵省ヨリ検査局ニ指
命シ歳入歳出ノ報告表ヲ編製シテ此副表トナシ以テ歳

入歳出ノ景況及ヒ豫算ノ高ニ差違アルヲ著明ニスル
モノナリ而シテ該表ニハ前理財期限中ノ為メ出納セシ
高ヲ著シ又各上等官廳金庫ノ會計緊要ノ条件ヲ拔萃シ
テ引ットノ歳入歳出高ヲ明瞭ニスルモノナリ此外豫算
表ニ掲記セサル歳入歳出ノ高ヲ著ス即チ左ノ如シ

政府持地賣買ノ高

義倉ノ景況

官員及ヒ遺族ノ救助金

官員ノ孀婦及ヒ孤兒ノ救助金

國家ノ豫備金及ヒ各官廳へ貸付高

生徒ノ學資及ヒ褒賞金

勸業資金
工業農業會社ノ証書受府ニテ買上高或ハ貸付金

此外又左ノ條件ヲ掲ク

國債償還局會計ノ景況

地頭年貢買受局會計ノ景況

此表ハ議院ニ回致スル為メ編製スルモノナリ議院ニ於テハ之ヲ刊刷シテ議院日誌ノ別表トナシ其原書ハ該院ノ記録所ニ蔵置ス

各上等官廳ノ惣會計帳ハ議院ノ理財委員見閲ヲ要スルニアラサレハ之ヲ送付セズ但シ此會計帳ハ大藏省上等検査局ニ蔵置スルモノナリ

國家會計ハ一年毎ニ但シ會計年度ヲ云完結シテ議院ニ回致スルモノナリ但シ同院ニ回致前大藏卿之ニ詳細ノ説明書ヲ附テ皇帝ニ上奏シ其別載ヲ乞フ皇帝ハ即之ヲ内閣ニ下付シテ可否ノ評議ヲナサシム此下問ハ

實際ニ之ヲ評議スルニ非ス全ク下議ノ手数ヲ要スルノ

此上奏、毎年國家ノ惣會計完結セシキニ於テス而シテ議院開院迄大藏卿之蔵置シ三年毎ニ議員會同スル

片ニ説明書ノ抄録ヲ添附シテ之ヲ回致ス而シテ此會計表ハ議長ノ机上ニ出シ置キモノナリ議長ハ該表ヲ議院ノ理財委員ニ下付シ委員ノ長官租稅陸軍鑛山等ノ種類ニ區分シ一員ヲシテ一事件ツ、ノ調査ヲナサシム

委員ニ於テハ該事件處分ノ考案ヲ作為シ委員中ノ會議ヲ經其顛末ヲ記載シテ衆議員ノ評議ヲ要ス其一ハ歲入歲出ノ下ニハ國債租稅陸軍土木ノ下最モ其一ハ極メテ

評議討論スルモノトス而シテ議事ノ問題及ヒ委員ノ考案ヲ刊刷シ衆議員ヘ配付シテ其評議ヲナサシム

國家總會計表議院へ回致セシ上ハ行政官ニ於テ其承認
ヲ受レテ欲ス而シテ兩院ニ於テ既ニ承認セシ上ハ兩
院ノ際其旨勅語アルノミニシテ別ニ國法トスヘキア
ルナシ若シ又議院ニ於テ同意シ難キ條件アルハ行政官
其辨明ヲ為ス不能ヲサレハ議院之ヲ除却シ其高ヲ保証
セサル旨ヲ陳述シ或ハ該卿ニ對シ其不足ヲ償ジムル
ヲ許フルノ權アリ
開院ノ際皇帝ヨリ國憲第十章第七條ノ如ク國家ノ總
會計全ク完結セシテ詔命アルモノナリ
各省定額ノ事ニ付テハ議院ニ對シ各卿其責ニ任ス大藏
卿ハ豫算ノ際承認セシ或ル定額ノ金高ヲ超過セシハ其
金額ノ支出承諾ノ下或ハ甲事業ノ為メニ允許ノ金高ヲ
乙事業ニ流用セシテ外ハ議院ニ對シ其責任ナシ

往古巴華釐亞國理財期限從前六年ナルニ依リ豫算モ之
ニ準ス故ニ政府ニ於テ此理財期限中前年ノ殘高ヲ翌年
ニ流用スルノ允許アリト雖モ該期限末年ノ殘高ハ議院
承認ノ上ニ非サレハ之ヲ次理財期限ニ流用スルヲ得
ス此度理財期限ヲ二年ト改定セシニ依テ殘高流用ノ下
モ之ニ準テ執行スルモノナリ

